

## 令和2年度 指定管理施設運営状況中間評価表

### 1. 施設の概要

施設の名称	むつ市海と森ふれあい体験館	
指定管理者	団体名	NPO 法人シェルフォレスト川内
	代表者	理事長 五十嵐 健志 (9月末現在)
	所在地	むつ市川内町川内 477
指定期間	平成30年 4月 1日 ~ 令和3年 3月 31日 (3年間)	
指定管理業務の概要	体験館を地域住民の生涯学習や子どもたちの総合学習の拠点とし、また地域の自然や歴史文化の情報発信を国内外に行い地域の活性化に寄与する。そのための主たる事業として、シェルミュージアムや陸奥湾の生物の展示、自然学校や指導員育成講座の開催、ジオパークやイルカなどに関する研究教育広報活動。	

### 2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、經常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額 ①	上半期実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	15,823	7,925	△7,898
うち利用料金額	108	21	△87
うち指定管理料	15,673	7,904	△7,769
支出合計 (B)	15,823	8,200	△7,623
うち人件費	12,844	6,229	△6,615
収支差 (A-B)	0	△275	△275
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	当初計画になかった館のPCのコンピューターウイルスへのセキュリティー対策の必要が生じ、その対策費用分。		

### 3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
		指定事業	7,200	1,409
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有) <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然学校などの参加者からは安全に配慮した質の高い理科学習プログラムであることや、丁寧な対応を感謝する声が寄せられている。</li> <li>・新型コロナ禍から県内外からの入館者にはマスク着用のお願ひなどの不便をおかけしているが、総じてトラブルもなく年度前期を終えている。</li> </ul>				

### 4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
新規学習プログラム「陸奥湾イルカ調べ隊～野生のカマイルカから日本の海を知る～」の開発およびトライアルの実施	参加延べ69人＋ネットフォロー一約500人	1,940	1,940

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B（適正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
② 施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
② 潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	A	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③ 職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③ 労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④ 利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
② 日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目についての改善策を記載すること。

評価項目「(2)②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。」及び「(2)③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。」の評価をAとした理由は、新型コロナウイルス禍の影響から活動範囲が大きく制限された年度前期であったが、その中であっても、補助金による自主事業を実施し、地域の学校教育との連携活動や、コロナ後を見据えた地域活性化（エコツアーや教育旅行に資する）のための陸奥湾の野生イルカ等を用いた新規学習プログラムの開発、およびSNS等での英語による地域の自然の情報発信を行い、国内はもとより海外から多くの反響を得ることができたことによります。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

評価項目「(2)②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。」及び「(2)③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。」について、指定管理者が評価Aとしているのは、「4. 自主事業の実施状況」で参加者（人数）が延べ69人、ネットフォロワー約500人といった成

果をもとに評価したものと読み取れるが、A の評価基準「計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。」までに至っていないものと判断し、市の評価はBとした。それ以外の個別評価については、いずれも適正に行われていた。